# Nikon

ノンプリズムトータルステーション Nivo-F -簡易マニュアル-

・各部名称

正側

望遠鏡合焦リング

望遠鏡接眼レンズ

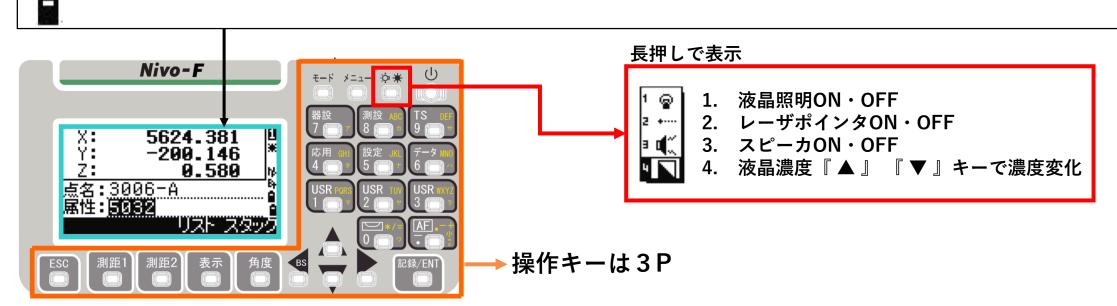






#### 液晶表示部のアイコン

- 🚺 文字入力状態…数値/アルファベット/カナの三種類
- **★** レーザポインタ点灯状態…ONで点滅、OFFは消灯
- **├** EDM設定状態…観測時、表示された測距値がプリズム/ノンプリズムのどちらで計測されたかを表します。
- 日本 通信ポート状態…Bluetooth選択時に点灯、シリアル選択時は消灯
- **星** 左右バッテリー状態…上側が左側、下側が右側を表している。





測距2

#### 操作キーの機能

測距ボタン。1秒以上長押しで【ターゲット種別/プリズム定数/測距モード/平均回数/記録モード】

引 | 画面の表示切替。1秒以上長押しで観測データの並び替えのカスタム可能。

角度機能メニュー。【0セット/入力/倍角観測】

器械設置のメニュー。【既知点設置/任意点設置/ベンチマーク/BSチェック】

測設のメニュー。【角度距離/座標/分割測設/オフセット測設】

- ·【-作業シーンに合わせて、3つのAFモードを選択できます-】
- **圖を1秒以上押して、オートフォーカス項目を切り替えられます。**

### 自動モード

常に目標物をオートフォーカスするモード。ノンプリズムでの計測時や 「通り」「建ち」の観測など素早いピンと調整が必要な作業には効果的な モード

# 2 光量+キーモード

プリズムなど、一定の光量があるものを視準する時や、AFボタンを押した時だけAFするモード。概略視準するだけでAFを行うので、近距離のピント調整はもちろん、遠距離の視認性が低いプリズムでも正確にフォーカスでき、スピーディーな作業を実現します。

# 3 AFキーモード

AFボタンを押した時のみAFが機能するモード。従来通りのマニュアルフォーカスを使いながら、視認性が低い目標物の観測時にオートフォーカスを使用する、といった使い分けにより、効率的な作業を可能にします。



#### ・シリアルにて通信

メニュー $\Rightarrow$ 通信 $\Rightarrow$ 1.データ送信/2.座標の受信/3.点名リスト/4.属性コードを選択フォーマット【APA/SIMA/ニコン形式】 データ種別【角度距離/XYZ】 \* 通信キーでシリアル選択時には設定をPC側と合わせる。ポート、速度、etc.

・USBにて通信…USBの中に"NTTS"フォルダを作成しておく。

データ入出力…USBの"NTTS"フォルダ直下に入力したいSIMAデータ等を入れておく。 データの送信・座標の受信⇒フォーマット選択⇒通信で【USB】を選択。⇒ENTで開始。 \*ファイル名に漢字が含まれていると読み込めません。

\*座標データ(点名)に漢字、スペース、文字形式が含まれていると読み込めません。<br/>
座標データの管理で点名をエラーが起こらないように編集してからUSBに入れる方が良い。



・現場データを本機~USB、USB~本機へコピー...バックアップに最適

現場管理一覧を表示⇒画面下の【FNC】対応ボタンを押す。

- FNC-
- 1. 基準点現場の設定
- 2. 現場コピー(メモリ+器械)
- □現場の移動(器械+メモリ)

- 1...基準点現場の設定
- 2...現場コピー(メモリ⇒器械)
- 3...現場の移動\*(器械⇒メモリ) \*移動時に削除しなければコピー可能。 USBメモリ内に保存されたデータをPCに保存しておくと良い。

・Bluetoothにて通信…設定やペアリング、データの容量により時間が要する。



### ・お問い合わせ

・加藤測器、新潟加藤測器HP
 https://www.kato-sokki.co.jp/
 上記アドレスのお問い合わせフォームより承っております。

・電話番号
 加藤測器
 新潟加藤測器
 担当
 各担当営業
 宛で承ります。

・メールアドレス
加藤測器 図goodservice@kato-sokki.co.jp
新潟加藤測器 図goodwrench@kato-sokki.co.jp

